



森林の放射性物質

Qちゃん 暖かくなって桜も咲き始めるころだし、ハイキングにでも行きたいな。

ねえ、先生。森林は家の周りとかと比べて放射線量が高いのかな。僕が友達を誘っても原発事故での放射性物質を気にして、来てくれないんじゃないかって心配なんだ。実際のところ、森林の放射性物質はどこにあるの？

つぼくら先生 原発事故の当初は空気中にばらまかれた放射性物質は、土とか落葉の表面とか葉や枝にくっついてたよ。けど、今は違って、もうほとんどが土の中に存在しているんだ。表面についていたものは最初は雨で流れたけど、7年の間に土にがっちりとかっついてしまって、もうほとんど動かなくなったし、葉や枝のものは枯れて地表に落ちて土にかえたからね。

セシウムは土と一旦くっつくとか離れづらいんだ。だから、森林にある放射性物質のほとんど（90%以上）が今では土の中に存在していて、しかも土の表面から深さ5センチメートルぐらいにとどまっていることがわかってるんだ。

ちなみに森林にとどまっている放射性物質が風

に乗って飛んできたり、川に流れ出たりするんじゃないかと心配する人もいるけれど、それも違う。セシウムは逆に今ある場所からほとんど動かず、風に飛ばされたり、水に溶けだしたりは、ほぼしていないことがわかっているんだ。

Qちゃん これだけ聞くと森林にはたくさん放射性物質がたまっているようにも聞こえるんだけど、遊んだりしても大丈夫なの？

つぼくら先生 心配しないでいいよ。土の中にとどまっていると言ったって、放射性物質自体が時間経過とともに減っていくからね。

ちなみに、福島県内の森林で、登山や山菜・きのこ採り、溪流釣りなどのレジャーをほぼ毎週行った人の外部被ばく線量は、多くとも年間0.14ミリシーベルト程度と報告されているよ（詳細：環境省ホームページ）。被ばく量としては胸のレントゲンを2枚とった程度だし、遊んでいる間の内部被ばくはないから健康影響を考えるレベルではないことがわかるね。

今回Qちゃんが分かったこと

▽森林でのレジャーを行ったとしても外部被ばく線量は健康影響を考えるレベルではないということ。

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

自家消費野菜などの 放射性物質測定結果

●2月分 ▽測定件数 10件

(内訳：野菜 2件、果実 2件、魚 4件、新米 1件、その他 1件)

▽基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品(3月6日現在)

▽くさそてつ(こごみ) ▽たけのこ ▽ふきのとう(野生)

▽ぜんまい ▽たらの芽(野生)

▽原木しいたけ(露地) ▽原木なめこ(露地) ▽野生きのこ ▽こしあぶら ▽うど(野生)

▽牛(県の定める出荷・検査方針に基づくものを除く)

※最新の情報は、福島復興ステーションホームページ内の「農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング結果【詳細】」で確認ください。

https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/non-kekka.html

https://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html

◎これまでの食品の検査結果(相馬市ホームページ)

●問い合わせ先 放射能対策室(☎ 37 2 2 7 0)